

木之本小学校からの報告

活動団体名： 木之本小学校 環境委員会

活動人数： 12人（教員2名）

取組時間：委員会の時間

調査内容 1回目：6月27日（木）赤川の生活用水 晴れ

木之本小学校では、昨年度から水生生物の調査を環境委員会に変更し、今年度は5年生5名・6年生5名の計10名で活動しました。

2020年に本校と杉野小学校が統合され、活動時間の確保と調査道具をもって移動できる場所を条件に、話し合った結果、意富布良神社前を流れる用水路（赤川の支流）を昨年度からの調査地点として、観察を続けていくことにしました。この川は、意富布良神社の南側地点を東西に流れる用水路（赤川の支流）で、川の両側がコンクリートで固められており、天候によっては濁水することもある小さな川です。梅雨の時期でもあり、調査日には水流が見られました。

まずバケツに川の水を汲みとり、日陰に置いて水温計で水温を測りました。

次に、上流と下流から同時に、手網を使い水草の下などを探って生物を採取していきまし
 た。採取した生物などはバケツに入れた後、バットに移して同定していきまし
ているだけではわからない多くの生物が見つかり、隊員たちは採取した生物を興味深く
観察していました。

調査員の感想

環境日記（5年・女兒）

サワガニがたくさんとれておどろきました。ここの水はきれいだなと思いました。でも、ミズムシも多くとれました。川の水はにおいも無いしすきとおっているのに、ミズムシが多くいて、きれいに見えるけれど、よごれているところもあるんだなと思いました。

捕まえた生き物たち

川では、様々な指標生物を見つけることができました。サワガニやヒラタカゲロウ類、シジミ類、カワニナ、その他としてスジエビやヤゴ類など、多くの生物を観察することができました。また、水質階級「Ⅰ」のサワガニが多くとれた一方で、水質階級「Ⅲ」のミズムシも見られました。

調査のまとめ

見た目がきれいな川でも、生物指標によると、実際のきれいさがわかり、水生生物調査の意義を実感できました。

また、昨年度から調査場所を1か所にして、経年変化を考察しました。前回の調査で、過去5年間「Ⅰ」だった水質階級が「Ⅲ」に変化し、今回の調査では「Ⅰ・Ⅱ」という結果が得られました。この変化に関して、2つの予想を立てました。

- ① 梅雨で雨がよく降ったので、山からきれいな水が流れてきて、汚い水が流されたのではないかと。
- ② ごみゼロ活動のときにごみが少なかったため、川の周りの環境がよくなったのだと思う。今後も調査活動を通して水環境の変化を注意深く観察し、環境委員会の取組から各学年・全校への取組に広がるように働きかけていきたいです。



活動の様子



【パックテストのようす】



【採取のようす】



【採取のようす】



【採取のようす】



【採取した生物の観察】



【多く見られたサワガニ】



【赤川支流で捕まえたサワガニ】



【赤川支流で捕まえたヤゴ】

